

地域おこし 協力隊だより



本市で活動している地域おこし協力隊の中から、今月は農業支援活動に従事する阿部めぐみさんを紹介します。

地域おこし協力隊に関する
問い合わせは
地域振興課地域振興係
(0266-22776)

● 深川の農業を支える活動を

本市の基幹産業である農業の振興と農業に関する知識や技術を習得するため、阿部さんは地域おこし協力隊として平成30年5月に着任しました。協力隊を志望したきっかけは「北海道の雄大な自然と農業に興味を持っていて、農業都市の深川で農業を学びたいと思いました」と目を輝かせていました。

阿部さんは、市とJ Aきたそらち、(株)深川振興公社と共に設立した(株)深川未来ファームで農作業に従事しているほか、珍しい品種の野菜栽培にも取り組んでいます。「スーパーではあまり見掛けない西洋野菜は、調理の仕方が分からないと敬遠されがちですが、見た目が華やかだったり栄養価が高かったりするので、消費者のみなさんに魅力をもっと知ってもらえるよう頑張っていきたい」と今後の目標を話してくれました。

● 生産した野菜は道の駅で販売

阿部さんが生産した野菜は、道の駅「ライスランドふかがわ」の農産物直売所で購入することができます。商品の袋に貼られた顔写真付きのラベルシールが目印です。これまでに二



深川市地域おこし協力隊が愛情たっぷり栽培しています！
応援よろしくおねがいします。
Instagramで日々の活動更新中です




▲目印のラベルシール(実物はカラー)

● 農業の魅力をSNSで発信

農作業に従事するだけでなく、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)による情報発信にも阿部さんは力を入れています。インスタグラムで写真とともに日々の活動内容を紹介しており「農業は大変、汚れる、危険といった印象を持っている方もいますが、私を感じた農業の楽しさややりがいを伝えることで、就農を目指す方が増えてくれるとうれしい」と思いを語ってくれました。

ンジンやズッキーニ、スイスチャードなどを販売し、10月以降は新タマネギ、カボチャ、レタスなどを出荷する予定です。

▼丁寧にレタスを収穫する阿部さん

